

# 白和田

## 見聞録

—ひわだけんぶんろく—

1 2014  
月号

### 総合南東北福祉センター

- 特別養護老人ホーム 南東北ロイヤルライフ館
- ケアハウス 南東北ライフケア館
- 南東北日和田デイサービスセンター
- 南東北日和田ホームヘルパーステーション
- 南東北日和田居宅介護支援事業所
- 南東北日和田居宅介護支援センター
- 日和田・西田地域包括支援センター（郡山市委託事業）
- 障がい者支援施設 南東北さくら館
- 通所事業所 南東北さくら館
- 日中一時支援事業所 さくらんぼ

—すべては利用者さんのために—



新規施設オープン  
スタッフ大募集!!

「よいしょ！よいしょ！」  
第12回南東北福祉センター  
もちつき大会

社会福祉法人  
南東北福祉事業団

# 新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

平成26年（西暦2014年）の年頭にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年福島県は、福島第一原子力発電所の事故による放射能問題で、連日マスコミ等のニュースが絶えることがありませんでした。10万人以上もの人々が止む無く避難生活を続け、3回目の正月を迎えています。福島原発は全て廃炉にすることになっていますが、廃炉まではあと30年〜40年を必要とすると言われ、次の世代の人々に大きな負の遺産を残すこととなります。福島県は他県に比して高齢化が一段と進行しており、若い年代が避難しているために少子化も顕著になっております。

この状況を打破するためには、多くの若者が福島県に来て、日本の難局を救う為に仕事のできる環境を作ること、すなわち夢のある仕事を創ることが何よりも急務であり、重要なことでもあります。しかし、人々が果敢に復興に励むためには「安心・安全」を保証できる環境づくりが必要であります。その環境づくりの一環として、福島空港、高速道路、東北新幹線などの交通の要衝である地の利と国内民間病院では初めてとなる粒子線治療などの放射線ガン治療世界一を誇る総合南東北病院の存在を活かして、郡山市に世界一の最先端の放射線治療を中心



社会福祉法人  
南東北福祉事業団 理事長

## 渡邊 一夫

にした医科大学である「国際復興大学」の誘致を行い、福島県の復興を果たしたいと考えております。

私も「南東北福祉事業団」の事業といたしましては、昨年8月に「東京総合福祉センター」江古田の森アネックスがオープンいたしました。本年は、郡山市富久山町八山田に特別養護老人ホームと障がい児童保育及び障害者就労支援施設が一体となった総合福祉施設の開設を予定しております。

今年は消費税率のアップとともに診療報酬の改訂も控えており、エネルギー問題や貿易収支の大幅な赤字、温暖化などの環境問題、尖閣諸島など中国・韓国等との領土問題、タイやアラブの混乱や日米安保問題など、国内外とも多難な年になることが予測されます。このような状況の中、我々「南東北グループ」は医療・介護の必要度が増えます。増えることを認識し、接遇・技術・結果の向上に努め、常に笑顔で患者さんと利用者さんに接し、利用者満足度の高い安心・安全できるサービスを提供してまいります。

今年も職員一同、私たちの団是である「すべては利用者さんのために」を使命として、地域福祉への貢献のために昨年にも増して頑張っておりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

平成26年1月吉日

社会福祉法人  
南東北福祉事業団 顧問

## 橋本 静昌



明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は大震災や原発事故からの復旧も進められ徐々に従来の姿を取り戻して来たところでありました。

私達はあの未曾有の事故から学び、培った尊い経験をそれぞれの部門で生かし、利用者さんや家族との連携は勿論、地域に根差した施設を目指し、皆さんとの交流の場として市民公開講座、出前講座、それに夏まつり、そして、ボランティアの積極的受入等を実施して参りました。

今年には市内富久山町に新たな福祉施設の開設に取り組んでいるところであります。

一方、まだあの震災や原発事故での被災者の方々が避難先で3年目のお正月を迎えられた事も事実です。一日も早い故郷での生活を念じるとともに私達といたしましても今年も団是であります「すべては利用者さんのために」を念頭に安心、安全をモットーに地域の皆さんに喜ばれる施設の運営に努めて参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成26年1月吉日

社会福祉法人 南東北福祉事業団  
常務理事兼事務局長

### 大森 正義



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
旧年中は、総合南東北福祉センター日和田、総合南東北福祉センター川俣、東京総合保健福祉センター江古田の森を運営する私ども事業団に対し格別のご

支援、ご協力を賜り衷心より感謝と御礼を申し上げます。  
お陰様で大きな事故もなく、利用者さん共々良い年を迎える事が出来ました。

さて、今年も午年です。  
馬は「物事がうまくいく」「幸運が駆け込んでくる」などと言われる縁起の良い動物です。

平成26年4月からは消費税率が8%にアップします。

現在のアベノミクス効果による円安、株高に続き、成長戦略等の施策実行による景気回復を見込み、一時金だけではなく、定期昇給のアップによる賃金引き上げを検討する企業も見受けられ、消費税率アップが吸収されることによって、更なる経済成長に結びつき、午年にちなみ、うまくいくことを期待します。

国の財政運営と改革の基本は持続可能な社会保障の実現のため主たる①医療・介護分野でのICTビッグバン②地域の構造変化に対応した医療・介護の提供体制の再構築③社会保障・税一体改革の推進であります。

また、社会福祉法人の在り方の検討会では、社会福祉法人の大規模化、複数法人による連携、経営の高度化、法人経営の透明性の確保や非課税扱いに相応しい地域貢献等について具体的な対応が求められています。

そこで、福祉施設としても果たすべき役割を的確に捉え、福祉サービスの質向上は勿論、在宅に向けた介護、リハビリ等の充実にも更に力を入れ、基本理念である「すべては利用者さんのために」を旨として業務運営を実践して参ります。

平成26年度は、郡山市内に(仮称)総合南東北福祉センター八山田の開設を控え、地域貢献、社会貢献のため、あらゆる職場機能を駆使し、職員一同が使命感と責任感を持って、誠心誠意取り組んで参りますので、尚一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたしますと共に、皆様方の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

平成26年1月吉日

特別養護老人ホーム 南東北ロイヤルライフ館  
ケアハウス 南東北ライフケア館施設長

### 坂井 貴子



謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
旧年中は、ご利用者様やご家族様として地域の皆さまの暖かいご支援やご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、当福祉センターは、高齢者と障がい者の総合福祉センターとしてここ日和田に開設して16年を迎えます。

ほぼ介護保険制度の始まりと同じ時期でした。今までと同じ暮らしをしたい、自分の家で暮らしたい等今も昔も思うことは同じだと思います。しかし、介護については変わりました。介護する人がいなく、家族だけで介護する時代は終わりました。国は、この介護問題について定期的に

見直しをかけてきます。私達福祉の現場に携わる者は、この状況を国に届け続けることを使命と考え、また安心で安全なサービスの提供を使命と考え、研修修繕してまいります。

介護の方法は一人一人違います。介護の原点に立ち、基本に立ち今一度利用者様にとって何が必要かを一緒に考えさせていただきサービスを提供させていただきたいと思っております。

東日本大震災がおきて間もなく3年が過ぎようとしています。私は、あの時を決して忘れません。そして東北の底力も決して忘れません。食べる、寝る、排泄、つまり生きるそのものでした。私達の介護という仕事も生きるそのものの支援です。今若い職員が寄り添う介護を考え実践しております。職員一同力を合わせ前進していきたいと思っております。

最後に南東北福祉事業団は、本年秋に郡山市に2つ目の総合福祉センターを富久山町にオープンします。高齢者と障がい者の総合福祉センターです。今まで培った知識と最新の情報を組み合わせ素晴らしい施設にしたいと考えております。本年の皆様からのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

平成26年1月吉日

障がい者支援施設  
南東北さくら館施設長

### 佐藤 智洋



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
旧年中は、当施設の運営に対し、格別のご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、アベノミクス効果により景気は回復に向けて進展しているといわれております。

障害者福祉施策に関しては、昨年の4月から「障害者総合支援法」が施行され、新たに難病の方々も障害福祉サービスの対象になったことや、相談支援体制も強化されました。

今年4月からは、この法律に一部改正があり、①障害支援区分の創設、②重度訪問介護の対象拡大、③ケアホームとグループホームの一元化等が主な改正内容となります。特に①障害支援区分の創設は、従来の基準から判定方式が見直され障害の多様な特性や心身の状態に応じて必要とされる支援の度合いを判定されるそうです。

また当施設におきましては、今年秋に新規開設予定である(仮称)総合南東北福祉センター八山田の準備を着々と進めてきたところであります。当法人としても初めてとなる障がい者の方の就労支援施設も開設予定となっておりますので、今後は研修や他施設見学等を行い早期に事業内容を具体化していくことが必要と感じております。いずれにしてもより良いサービスを提供できるように、これまで以上に知識・技術の向上と、利用者さんが楽しみと安らぎのある生活が実現できるよう、さらなるサービスの質の向上に取り組んでいかなければなりません。

今年も、午年です。当法人も新規施設の開設という大きな事業も控えております。目標に向かって駆け上がることが出来る1年になるよう、そして選ばれる施設となるようにしていきたいと思っております。  
結びに、本年が皆様にとりまして健康で幸多き飛躍の年になりますよう、ますますの御発展をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

平成26年1月吉日

# 南東北福祉センター

## もちつき大会

12月28日(土)の昼すぎから総合南東北福祉センターの交流ホールで餅つき大会が開催され、利用者さん約75人が参加しました。

最初は職員がお餅をつき、利用者さん達が「餅つきの歌」を歌い応援しました。歌と一緒に「ヨイシヨ、ヨイシヨ」という掛け声を受けながら、職員が力強くお餅をついていきました。仕上げには利用者さんも千本杵を使って参加し、力を合わせて頑張りました。



その後は、ついたお餅で鏡餅作りと団子刺しを行いました。利用者さんは慣れた手つきで鏡餅を次々と作りました。餅

つきに参加できなかった利用者さんも団子刺しに参加し、「お餅の柔らかい感触が楽しい」と話していました。餅つき大会は終始賑やかに行われ、利用者さんは大いに餅つきを楽しんだようでした。



### ケアハウス 南東北ライフケア館

## 避難訓練!

南東北ライフケア館では11月25日(月)避難訓練を実施しました。皆さん短時間で落ち着いて避難する事ができました。

避難訓練の後は食堂に集まり、平成25年の郡山市火災発生状況(11月25日現在)、IHコンロでの火災防止方法、避難時の服装や持ち物などの確認を行いました。皆さん真剣に聞いていました。災害発生時、冷静に行動できるように今後も定期的に避難訓練を実施したいと思います。



## 新そば ツアー

南東北ライフケア館では、11月28日(木)に新蕎麦ツアーを行いました。磐梯熱海にある蕎麦屋に行き、天ざる蕎麦や冬限定の地鶏南蛮蕎麦をいただきました。一人前でもボリュームがあり、「いつもはこんなに食べられないが、今日はいっぱい食べた!」との声が多く聞かれました。その後、ショッピングセンターに寄り道をして、買い物をしました。食材を買う方もいれば、お歳暮を頼む方、セーターやマフラーを見る方などそれぞれ自由時間を満喫していたようです。

帰りの車内では「すごく楽しかった」「また出掛けたいね」と笑顔で話していました。今後も入居者の方にとって良い1日だったと振り返ってもらえるような行事を行っていききたいと思います。

